



令和4年11月1日（月）
国土交通省 関東地方整備局
利根川下流河川事務所

記者発表資料

第4回利根川下流部自然再生シンポジウム in 香取を開催します ～利根川の魅力と自然をつなぐ～

利根川下流部の自然環境を活かした地域づくり、自然環境の保全につなげるために、今年度自然体験学習を実施した東庄中学校と銚子西中学校からの報告、利根川下流部の自然を再生する取組、利根川の自然環境のこれからなどについて意見を伺い、利根川の魅力を再認識し地域の発展につなげることを目的に下記のとおりシンポジウムを開催いたします。

記

1. 開催日時 令和4年12月2日（金）13：00～16：00
2. 場 所 香取市小見川市民センター いぶき館
3. 定 員 会場 先着100人 オンデマンド視聴 200人
4. 共 催 国土交通省 利根川下流河川事務所
千葉県香取市・銚子市・東庄町、茨城県神栖市
5. 協 力 千葉県・茨城県内水面漁業協同組合連合会

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、茨城県政記者クラブ、
千葉県政記者会、香取記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局 利根川下流河川事務所

副所長

たどころ もとひろ
田所 百年裕

調査課 建設専門官

うちくら かつゆき
内蔵 勝行

電話 0478-52-6361（代表）

FAX 0478-52-9720

第4回利根川下流部自然再生シンポジウム in 香取 概要

1. 開催目的

シンポジウムは、教育、生物、河川等の各方面の専門家により、「水郷・利根川の魅力と自然をつなぐ」をテーマに自然や生態系を守り活用し、魅力を再認識し、地域の発展につなげるためのシンポジウムを開催します。

2. 利根川下流部の自然環境の特徴

利根川下流部の高水敷は、ヨシ原や干潟からなる良好な湿地・水際環境となっており、国際的に希少な野鳥であるコジュリン・オオセッカの国内でも数少ない繁殖地となっています。昭和30年代頃は、現在よりもヨシ原は広がり豊かな自然環境があり、さらに舟運が盛んで周辺の街が水郷として発展してきた歴史もあり、人と川がより身近なものでした。しかし、現在は湿地環境の乾燥化やセイタカアワダチソウ等の外来植物の侵入などによりヨシ原や湿地が減少しています。

3. 自然再生事業の取り組み

利根川下流河川事務所では、2013年より「多様な生物の生息・生育場を育む、湿地・水環境の保全・再生」を目標として自然再生事業を進めています。

自然再生事業は、河川管理者のみでの実施にとどまらず、広く情報を共有しながら環境整備に対する地域の理解と活性化に繋がるよう、連携して取り組んでいます。

4. 開催について

- 開催日時 令和4年12月2日（金）13：00～16：00
- 場所 香取市小見川市民センター いぶき館
- 定員 会場 先着100人 オンデマンド視聴 200人
- 共催 国土交通省 利根川下流河川事務所
千葉県香取市・銚子市・東庄町、茨城県神栖市
- 協力 千葉県・茨城県内水面漁業協同組合連合会
- 応募締切り 令和4年11月25日（金）
- 参加申し込み 別添チラシをご確認ください。
- 問い合わせ先 公益財団法人 河川財団

担当者：津久井・軍司

E-mail：tonekaryu@kasen.or.jp

TEL：03-5847-8305

※取材の問い合わせは、上記連絡先までお願いします。

開催テーマ

水郷・利根川の魅力と自然をつなぐ

基調講演

ヨシ原をめぐる人と自然のかかわり

西廣 淳 国立研究開発法人国立環境研究所 気候変動適応センター 室長

歴史ある利根川下流部自然再生の今と今後 浅枝 隆 埼玉大学 名誉教授

香取市の魅力 岩村 伸 香取市商工観光課

自然がつなく 自然でつなく 今・未来 坂 有希子 鳥類専門家

コジュリン・オオセツカ三大繁殖地のひとつー岩木川の魅力と自然ー

岩木川のヨシ原と地域とのつながり 竹内 健悟 青森大学 客員教授

利根川と青森をつなぐもの～トリ・サカナ・ヒト
東 信行 弘前大学 農学生命科学部生物学科 教授

利根川の自然環境を活用した体験学習に参加して

東庄町立東庄中学校 1・2年生 銚子市立銚子西中学校 1年生

パネルディスカッション コーディネーター 坂 有希子 鳥類専門家

パネリスト 浅枝 隆 埼玉大学 名誉教授 西廣 淳 国立環境研究所 気候変動適応センター 室長
都祭 史 東庄町立東庄中学校 校長 玉井 敏雄 銚子市立銚子西中学校 校長
伊藤 友則 香取市長 柳堀 弘 波崎愛鳥会 会長



本シンポジウムは、土木学会CPD認定プログラムです。【申請中】

第4回 利根川下流部自然再生 シンポジウム in 香取

締切
11/25
金

開催日 令和4年 **12月2日** 金 受付開始 12:30 ~ 13:00 ▶ 16:00

会場 香取市小見川市民センター いぶき館 千葉県香取市羽根川3番地 交通：JR成田線小見川駅 徒歩10分

参加費 無料 会場 先着 **100名** オンデマンド配信 **200名** 配信期間：12/13(火)～12/25(日)

参加方法 事前登録 ※参加方法は、裏面をご覧ください。



問合せ先 国土交通省 関東地方整備局 利根川下流河川事務所 調査課 TEL 0478-52-6366 担当 内蔵・門脇

共催



協力



都心から高速道路で約 90 分のところに、かつて日本のベネチアといわれた水郷があります。そこは湿地や水路が入り組み、利根川には国内最大級のヨシ原が広がります。広大なヨシ原は国内有数のコジュリン・オオセッカの貴重な棲かとなっています。

しかし、近年は高水敷の乾燥化でセイタカアワダチソウなどの外来植物が侵入し、ヨシ原や湿地が減少しています。

利根川下流では、その自然環境を再生するための取り組みが 2013 年から始まりました。「多様な生物の生息・生育場を育む、湿地・水際環境の保全・再生」です。これまで、小見川・高浜地区をはじめ、ヨシ原や干潟・ワンドの再生が行われてきました。

今、自然再生地では中学生の体験学習が 2020 年から始まり、この場所を守るために何ができるか新たな魅力を発見する学びの場となっています。このような自然を再生する取組みや活用が、沿川地域にとっても水郷・利根川をさらに魅力的な場として認知され、地域振興につながることを期待されます。

そこで、各方面から専門家をお招きして「水郷・利根川の魅力と自然をつなぐ」をテーマに自然や生態系を守り活用し、魅力を再認識し、地域の発展につなげるためのシンポジウムを開催します。



会場参加

事前登録～開催当日までの流れ【先着 100 名】

1 事前登録

会場に参加するには、事前登録が必要です。
申込み専用フォーム「下記 URL」または「右図 QR コード」より、お申込みください。
<https://www.kasen.or.jp/tabid506.html>



2 開催当日

受付開始後～開始時刻前までに会場にお越し頂きまして、受付をお済ませください。
感染症対策のため、お座席は全て指定席とさせていただきます。予めご了承ください。

オンデマンド配信

事前登録～視聴（アンケート回答）までの流れ【200 名】

配信期間：12/13（火）～12/25（日）

1 事前登録

オンデマンド配信を視聴するには、事前登録が必要です。
申込み専用フォーム「下記 URL」または「右図 QR コード」より、お申込みください。
<https://www.kasen.or.jp/tabid506.html>



2 登録完了メール

「事前登録」完了後、「登録完了メール」が届きます。届いたら、登録完了です。
※完了メールが届かない方は、下記事務局までお問合せください。

3 視聴 URL メール

事務局より、12/12（月）に「視聴 URL」を付したメールを送付いたします。
「視聴 URL」をクリックして、配信期間内【12/13（火）～12/25（日）】にご視聴ください。
※視聴にかかるモバイルデータ通信費などは参加者の負担となります。有線接続もしくは Wi-Fi 接続の環境下でのご参加を推奨します。

4 アンケート回答

アンケートは、上記「3. 視聴 URL メール」に記載している「アンケート URL」をクリックしてご回答ください。
ご視聴後、アンケートは **令和 4 年 12 月 30 日（金）締切**までにご回答ください。

※個人情報は、本シンポジウムの連絡・受講証明書の発行以外には使用いたしません。

受講証明書

受講証明書は、シンポジウム終了後のアンケートにご回答頂くことで、発行させていただきます。
受講証明書は、事前登録頂いたメールアドレスに送付いたします。

【注意事項】

- ① 他団体へ CPD 単位を登録する場合は、その団体の登録のルールに則って行われます。
単位が認定されるかどうかは、直接その団体にお問合せください。
- ② 受講証明書は、配布までにお時間をいただく場合がございます。回答締切以前の受講証明書配布はございません。

利根川下流部自然再生シンポジウム 事務局